

広報

心の通う福祉のまちづくり



社会福祉協議会だより

さつま町のふくし

No.49 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 平成31年4月発行

発行・編集 さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内) TEL 0996-52-1123 FAX 0996-52-1148



【鶴田小学校児童会】



【壱進小学校児童会】



↑ 町民大会での表彰のようす



【鶴田中学校生徒会】

↑ エコキャップ(ペットボトルのふた)・プルタブの寄贈ありがとうございました。町民の皆様でも、ご協力下さった方々、ありがとうございました。今後ともご協力をよろしくお願いします。

目次

- 表紙……・エコキャップ・プルタブ寄贈の紹介、町民大会での社会福祉事業功労者表彰のようす
2P……・町民大会表彰の紹介、理事会・評議員会の報告、人事異動について
3P……・平成31年度さつま町社会福祉協議会資金収支予算
4P～6P・平成31年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
7P……・ご近所福祉だより、高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会、地域共生社会シンポジウムでの発表
8P……・ボランティア養成講座、ボランティア連絡会、ボランティア活動保険広告
9P……・香典返し、篤志寄付、備品貸し出しの紹介
10P……・児童・生徒のボランティア活動認定証表彰紹介、川内青年会議所災害時相互協力研修会への参加、平成30年度エコキャップ回収実績、さつま町社会福祉協議会ホームページQRコード紹介、編集後記



・・・ボランティア活動団体として、永年にわたりボランティア活動に取り組まれ、地域貢献に寄与されている。

ボランティアグループ

つきみ会

(従事年数12年)

2月17日(日)に開催された、第14回さつま町民大会で、社会福祉事業功勞の表彰も行われました。受賞おめでとうございます。

受賞団体は次のとおりです。

(敬称略)

【社会福祉事業功勞表彰】

【理事会の報告】

平成31年3月20日(水)

第4回理事会を開催し、専決処分、平成30年度補正予算(第2次)、さつま町福祉用具貸与事業所の廃止、平成31年度さつま町社会福祉協議会事業計画・収支予算、平成31年度短期借入金、平成30年度第3回評議員会開催について、原案通り承認を受けました。

【評議員会の報告】

平成31年3月28日(木)

第3回評議員会を開催し、専決処分、平成30年度補正予算(第2次)、さつま町福祉用具貸与事業所の廃止、平成31年度さつま町社会福祉協議会事業計画・収支予算、平成31年度短期借入金について、原案通り承認を受けました。

【職員の人事異動】

【退職】(3月31日付)

訪問介護事業所
サービス提供責任者

内村 和子(定年)

地域包括支援センター

看護師

山下 妙子(定年)

訪問給食サービス事業所

配食調理員(嘱託)

時吉 君子(再雇用満了)

訪問給食サービス事業所

配食調理員(パート)

春田 祐子

訪問介護事業所

訪問介護員(パート)

山下 睦子

【異動】(3月31日付)

地域包括支援センター

主査

栗野 洋行

(町からの派遣満了)

【異動】(4月1日付)

居宅介護支援事業所

管理者

坂元 朱美

地域福祉係

生活支援コーディネーター

原田 美智子

訪問給食サービス事業所

配食調理員

西之園 まさよ

訪問入浴介護・障害者訪問介護事業所

サービス提供責任者(嘱託)

有川 和子

訪問介護事業所

訪問介護員(パート)

末永 美奈子(新採用)

訪問給食サービス事業所

配食調理員(パート)

内村 和子(再雇用)

地域包括支援センター

主事

杉元 大輔

(町からの派遣)

介護支援専門員

平野 むつみ

看護師(嘱託)

山下 妙子(再雇用)

平成31年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 資金収支予算書 (単位：千円)

勘定科目（大区分）			合 計	社会福祉事業	公益事業	収益事業
事業活動による収支	収 入	会費収入	4,400	4,400	0	0
		寄付金収入	2,700	2,700	0	0
		経常経費補助金収入	36,326	36,326	0	0
		受託金収入	105,035	54,396	50,639	0
		貸付事業収入	1,300	1,300	0	0
		事業収入	4,430	2,630	1,200	600
		負担金収入	31,250	31,250	0	0
		介護保険事業収入	73,449	52,089	21,360	0
		障害福祉サービス等事業収入	5,455	5,455	0	0
		受取利息配当金収入	19	16	2	1
		その他の収入	832	830	2	0
		事業活動収入計	265,196	191,392	73,203	601
		支 出	人件費支出	185,615	130,019	55,596
	事業費支出		31,514	25,346	5,658	510
	事務費支出		37,420	25,937	11,442	41
	貸付事業等支出		1,301	1,301	0	0
	共同募金配分金事業費		3,735	3,735	0	0
	助成金支出		3,400	3,400	0	0
	支払利息支出		15	15	0	0
	事業活動支出計		263,000	189,753	72,696	551
事業活動資金収支差額	2,196	1,639	507	50		
施設		施設整備等活動収入計	0	0	0	0
		施設整備等活動支出計	0	0	0	0
		施設整備等活動資金収支差額	0	0	0	0
その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入	1,400	700	700	0
		事業区分間繰入金収入	380	50	330	0
		その他の活動収入計	1,780	750	1,030	0
	支 出	積立資産支出	950	700	250	0
		事業区分間繰入金支出	380	330	0	50
		その他の活動による支出	5,526	4,239	1,287	0
		その他の活動支出計	6,856	5,269	1,537	50
	その他の活動資金収支差額	-5,076	-4,519	-507	-50	
	予備費支出	1,000	1,000	0	0	
	当期資金収支差額合計	-3,880	-3,880	0	0	
	前期末支払資金残高	11,271	11,271	0	0	
	当期末支払資金残高	7,391	7,391	0	0	

平成31年度 さつま町社会福祉協議会事業一覧

事業名	内 容	備 考
1 法人運営の充実・強化		
① 心配ごと相談所	毎週木曜日 午前10時～正午	町委託
② 無料法律相談	毎月第3木曜日（8月は第3金曜日）、13時30分～16時30分（予約制、1日6件）弁護士による無料法律相談	
③ 宮之城ひまわり館の管理運営	町民の福祉の拠点であると同時に交流の場であることを広報し、利用促進を図る。	町指定管理
④ 老人福祉センター「いぬまき荘」の管理運営	高齢者やふれあい・いきいきサロン等の利用啓発に努め、園芸教室、健康教室を月1回実施し、隣接する郷土文化伝習館及びふれあい広場の管理・運営、利用促進を図る。	町指定管理
⑤ 広報誌の発行	広報紙「さつま町社会福祉協議会だより」の発行を行う。（年4回、全戸配布）	
2 地域福祉活動の推進		
① 生活支援体制整備事業	○社会資源開発 ○生活支援ネットワークの構築 ○ニーズと取り組みのマッチング	町委託
② 地域見守りネットワーク支援事業	○支え合いマップづくり ○見守りネットワークづくり ○ライフサポートアドバイザー事業	町委託
③ 支え合いネットワーク互助事業	地域生活応援員を派遣し、日常生活でのちょっとした困りごとを支援する。（30分、自己負担300円、現金制）	
④ 福祉サービス利用支援事業	生活支援員により、判断能力が不十分な方の、福祉サービス利用の代行や公共料金の支払い手続き、重要な書類の保管等	県社協委託
⑤ 生活福祉資金貸付事業	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	県社協委託
⑥ 法外援護資金貸付事業	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	
⑦ 共同募金配分事業	90歳到達者記念品贈呈、無料法律相談、地区社会福祉協議会活動助成、支え合いマップづくり、社会福祉大会（町民大会）等の事業を行う。	
3 高齢者福祉活動の推進		
① 高齢者ふれあい・いきいきサロン事業	お互いの安否確認と元気づけ・仲間づくりで、寝たきり予防・認知症予防等を行う。	町委託
② 福祉給食サービス事業	ひとり暮らしや、虚弱な高齢者等に食事を配食し、健康維持と安否確認、声かけを行う。 1食500円（昼、夕） 年間58,000食予定	町委託

事業名	内 容	備 考
4 障がい者（児）福祉活動の推進		
① 相談支援事業	相談支援専門員を配置し、障がいのある方々の相談・支援を行う。	町委託
② 特定相談支援事業	相談支援専門員を配置し、障がいのある方々のサービス等利用計画を作成し、相談・支援を行う。	
③ 障害者訪問介護事業	障がいのある方々に訪問介護員を派遣し、身体介護や家事援助を行う。	
④ 障害者訪問入浴介護事業	障がいのある方々を対象に、移動入浴車を利用し、自宅にて入浴介助を行う。	町委託
⑤ 移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある方等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促す。	町委託
5 児童福祉・母子寡婦福祉活動の推進		
① 母子寡婦福祉会への活動支援	母子寡婦福祉会への活動支援	
② 児童等へのレスキュー事業推進	社会福祉法人連絡会との協働で行う。	
6 ボランティア活動の推進		(町補助)
① ボランティアセンター機能の充実	ボランティアセンター機能の充実を図る。	
② ボランティアコーディネーター活動の充実	ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動等の相談に応じる。	
③ 個人・団体ボランティアの育成・支援	個人ボランティア・団体ボランティアの育成・支援を行う。	
④ ボランティア連絡会	ボランティアに関する交流・研修会を行い、活動の支援・調整を行う。	
⑤ ボランティア協力校・協力園の指定・支援	ボランティア協力校・協力園として指定し、ボランティア精神の育成等、福祉教育の充実を図る。	
⑥ ボランティア養成講座	町民へのボランティアの普及・啓発を図り、同時に、地域でのボランティア活動のリーダーを養成する。	
⑦ 福祉ボランティア体験学習	中・高生等が夏休みを利用し、町内の福祉施設で福祉ボランティアの体験学習を行い、福祉に対する精神を養う。	
7 介護保険事業の推進		
① 居宅介護支援事業	介護支援専門員による居宅介護サービスの計画書の作成、管理を行う。	
② 訪問介護事業	訪問介護員を派遣し、身体及び家事等の生活援助を行う。	
③ 訪問入浴介護事業	移動入浴車を利用し、自宅での入浴の介助を行う。	

事業名	内 容	備 考
8 公益事業		
① 一般乗用旅客自動車 運送事業（福祉タクシー）	予約制により、対象者の医療機関等への送迎を行う。 （福祉輸送限定）	
② 地域包括支援センター 事業	高齢者等の相談対応や、介護予防支援事業、認知症 施策等を行う。	町委託
③ 生活困窮者自立支援事業 （さつまくらし・しごと サポートセンター）	自立相談支援を中心に、就業の確保や、家計、子ど もの学習支援等について、相談・対応を行う。	県委託
9 収益事業		
① 介護用品販売事業	紙おむつ等の介護用品の販売を行う。	
10 その他		
① さつま町権利擁護セン ター（仮称）の設立準備	成年後見制度の利用支援や、意思決定支援等により、 権利擁護の推進を図る。	
② 無料職業紹介所	生活困窮者を限定に無料で職業の紹介、あっせんを 行う。	
③ 地区社会福祉協議会の 活動支援	20地区に社会福祉協議会を設置し、地域住民の自主 的・主体的福祉活動を推進する。	
④ 共同募金委員会事業	募金運動期間（10月～共同募金運動、12月～歳末た すけあい運動）	
⑤ 日本赤十字社事業	日赤鹿児島県支部さつま町分区としての会費募集や、 災害救援等の赤十字事業を行う。	
⑥ 苦情解決に関する 第三者委員会の開催	第三者委員会による、福祉サービスを利用される方 からの相談や苦情解決を行う。	
⑦ 飲料水自動販売機設置	町内の公共施設等に自動販売機を設置している。	
⑧ 車椅子の貸し出し	旅行等、車いすが必要な方に無料で車いすを貸し出 す。（概ね1ヶ月以内）21台保有。	
⑨ 総合的学習の時間 への協力	町内各学校へ講師として職員を派遣し、福祉関係の 講話等を行うことで、福祉教育の推進を図る。	
⑩ さつま町社会福祉法人 連絡会事務局	町内14の社会福祉法人が相互に情報交換を行い、地 域の課題やニーズを把握し、連携と協働により社会貢 献事業に取り組む。	
⑪ 北薩地区社会福祉協議会 連絡協議会	災害時相互応援協定により、災害時の支援や、情報 交換等を行う。	

黒鳥公民会

今回の見直しでは、近年の災害の多発を受け、水害時の避難誘導方法の検討や、緊急時医療情報キットの定期的な情報更新などの意見が出ました。また、国際交流の機会があるという地域の特徴を活かして、今後もお互いに歩み寄る地域づくりをしていくとのことです。



豆漬公民会

1年半前に作成したマップを元に、見守り活動の見直しと地域課題の整理を行いました。北薩横断道路の整備等で今後交通量の増加が見込まれるので、交通安全の呼びかけを行うことや、自助・共助・公助を意識した健康維持の取り組みについて意見が出されました。

ご近所福祉だより



支え合いマップづくりに取り組んでくださっている地域の紹介です。

東町公民会

高齢者ふれあいサロンに呼びいただき、見守り活動と見守られ上手についての話をさせて頂きました。



それを受けて東町公民会では、新年度に支え合いマップづくりを計画中です。



黒鳥公民会

さつま町社会福祉協議会では、支え合いマップづくりの支援を行っております。ご相談等、お気軽にご連絡ください。

高齢者ふれあい・いきいきサロン

平成30年度高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会を、平成31年2月7日に開催いたしました。今年度も、社協サロンと総合事業型サロンの合同での開催となりました。



「シンポジウム「暮らす」を支える、「地域」を支える」地域福祉と社会的孤立」でのパネリスト報告



2月1日に、黎明館にて実施されたシンポジウムに、さつま町社会福祉協議会の山下事務局長が参加し、実践報告を行いました。このシンポジウムは、NPO法人やどかりサポート鹿児島島の主催で実施されましたが、身寄りのない方や、住む場所を見つけれない方など、昨今の問題点を考える非常に良い機会となりました。今後の業務に生かしていきたいと思います。



平成31年1月27日(日)、平成30年度ボランティア養成講座を開催し、約40名の方にご参加いただきました。今回は、「傾聴力を育てよう!!」をテーマにNPO法人かごしまメンタルパートナー協会・理事長 江並智子様に、「心に寄り添う聴き方について」ご講演いただきました。講演を通じて、日常生活での何気ない会話の中でも、傾聴(耳を傾けて聴くこと)を意識することで、より相手を理解できたり、自分自身も心が穏やかになったりするということを実感しました。

平成30年度ボランティア養成講座
「傾聴力を育てよう!!」



平成31年ボランティア連絡会を開催しました。ボランティア登録や、ボランティア活動保険の手続き等について説明を行いました。今後のボランティア活動の、より一層の普及の為に、啓発活動にも努めて参ります。ご要望等がありましたら、お寄せください。

平成30年度ボランティア連絡会

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

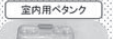
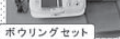
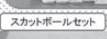
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

平成31年3月31日受付分

77 75
万 件
円

(町内は大字、町外は住所地)

いぬまき荘 電話 55-9055	ひまわり館 電話 52-1123	血圧計 	低床型玉入れセット 
輪投げ4WDタイプ(太) 	室内用ペンタク 	ボウリングセット 	スクートボールセット 
ビーンボウリング 	お玉手リズム体操 & じゃんけんシート 	ワーリング 	輪投げスタンダードタイプ(太) 
ストライクボードセット 			



これからも、積極的なボランティア活動を応援しています。

- ・永山 鈴彩さん（盈進小学校4年生）
- ・中屋 美桜さん（盈進小学校4年生）

（写真向かって右から）

児童・生徒のボランティア活動認定証の表彰を、次の児童に行いました。

【児童・生徒のボランティア活動認定証】



【川内青年会議所
災害時相互協力研修会への参加】

3月2日（土）、薩摩川内市総合福祉会館において、公益社団法人川内青年会議所が開催された災害時相互協力研修会へ、薩摩川内市社会福祉協議会・さつま町社会福祉協議会合同で参加しました。

研修会では、災害時における青年会議所と、社会福祉協議会の取り組みについてお互い報告し合い、今後の取り組みの参考となった研修会でした。今後も協働で、こういった取り組みを続けることが出来ればと思います。

平成30年度のエコキャップ回収実績

☆回収個数…387,954 個

☆重 さ…902.4 kg

☆ポリオワクチン…451.4 人分

※ 2 kg= 約20円で 1 人分の計算

～ご協力ありがとうございました。～

さつま町社会福祉協議会のホームページが、新しくなりました。是非、ご覧ください。



さつま町社会福祉協議会
ホームページ
←
QRコード

編集後記

麗春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。桜の花も散り、いよいよ五月から、新年号「令和」がスタートとなります。皆様にとって、「平成」はどのような時代だったでしょうか。

さて、広報誌第49号を発行いたしました。発行にご協力くださいました方々に感謝申し上げます。ところで「令和」の年号は、万葉集から出典されたとのことですが、我々、さつま町社会福祉協議会も時代の声を反映し、安心して暮らせる町づくりの為、気持ちを一新して地域福祉の推進を図って参ります。

今後とも、町民の皆様のご指導・ご協力を、よろしく願っています。

「令和」の時代が、町民の皆様にとって、幸多き時代になりますようお祈りします。